

# 中部環境計量士会だより

2018年12月25日発行

第23号



【写真】 四日市港ナイトクルーズ (近藤会員提供)

## 目次

- 1 最近実施した行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 今後の行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 愛知県「水質事故未然防止説明会」開催の紹介・・・・・・・・ 2
- 4 会員だより
  - ・表紙の写真について 「四日市港の変遷」・・・・・・・・・・ 2
  - ・話題提供 「なんとか登った日本100名山 3」・・・・・・・・ 3

## 1 最近実施した行事

【見学会】 (参加者 11名)

日 時：2018年11月6日（火）：13時30分～15時30分

場 所：オオブユニティー株式会社 横根バイオマスガス発電施設

## 2 今後の行事予定

【勉強会と懇親会】

日 時：2019年2月2日（土）勉強会：14時～17時、懇親会：17時～

場 所：大同特殊鋼(株)健保会館 名古屋市熱田区神宮2-3-30

<https://daidokenpo.jp> Tel 052-671-1186

アクセス：名鉄名古屋本線「神宮前」下車、熱田神宮東門から南へ徒歩5分

内 容：

テーマ1：紫外線を使用した水処理（促進酸化法・・・AOP処理）（佐野会長）

テーマ2：共に考える、プラスチック汚染への対応（大井会員）

テーマ3：地球温暖化対策 緩和と対応（中島会員）

★ 勉強会の後、恒例の懇親会が予定されています。多数のご参加をお待ちしています。

## 3 愛知県「水質事故未然防止説明会」開催の紹介

愛知県環境部水大気環境課より、「水質事故未然防止対策説明会」開催の案内がありました。

日 時：2019年1月23日（水）：14時～16時

場 所：愛知県三の丸庁舎 8階 大会議室 名古屋市中区三の丸2-6-1

詳しい情報は、愛知県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2018-jikosetumeikai.html>

## 4 会員たより

○ 表紙の写真について

『 四日市港の変遷 』

近藤浩子

昭和生まれの方々に「四日市市」についてお聞きすると、公害の町をイメージする方が多いであろう。呼吸器系公害である「四日市喘息」。昭和30年代より本格的な石油コンビナートが立ち

並び時代の最先端を走り始めた四日市市。高度成長の負の側面として二酸化硫黄等の硫黄酸化物が四日市公害を引き起こした。そして昭和40年代前半には「日本三大公害」の町として位置付けられた。多くの地元住民は喘息に苦しみ、死に追いやられた方までおられた。

その後「行政・市民・企業」が三位一体となり、四日市公害絶滅に対して取り組んだ。その結果、四日市市は公害の町から脱出した。「公害の港」から50年の時は流れ、四日市港は、ナイトクルーズが有名な「夜景が美しい港」に生まれ変わったのだ。

美しい夜景の光は、公害の発生元の「石油コンビナート」を照らす。公害の原点であった「石油コンビナート」。最大の欠点をプラスに転じた。しかし、いまだ、当時の公害のため苦しんでいる方々もおられる。この事実を決して忘れず「再起の象徴」としてきれいな空気・美しい夜景を保っていかれることを、願う。



## ○ 話題提供

### 『 何とか登った日本百名山 3 』

田中 義身

「百名山を全部登りました」と言うと、どの山が一番良いかと聞かれることがあります。これは答えるのに困ります。100の山にそれぞれの思い出があります。「百の頂に百の喜びあり」という『日本百名山』の著者深田久弥の言葉があります。山の印象は天候に大きく左右され、コース、体調、同行者、山小屋などの宿泊施設、出会いや思い出などに影響されます。

開聞岳は筑波山に次いで低い1,000m以下の百名山ですが、素晴らしい山だと感じました。年に30万人ほどが登る最高峰の富士山は登るよりも眺める山だと思います。

北海道の山ではヒグマに注意と言われ、撃退スプレーも売られていますが、登山中にはヒグマも鹿もキツネも見ませんでした。今回は、6トムラウシ、7十勝岳の記録を紹介します。

#### 6 トムラウシ (2141m) 2014年7月28日 (月) クラブツーリズム仙台ツアー

トムラウシは大雪山と十勝連峰の間にある単独峰、火山です。百名山の中で一番素晴らしいという人もいます。最短の「短縮コース」で登るツアーでした。最短とはいえ頂上まで6時間以上かかりました。

2009年にツアー登山で8人の遭難死があった山ですが、ルートが



違います。天気は良く、花も多くてきれいでした。十数名のグループでしたが、すぐにリタイアした人と登りで足に痙攣を起こした人がいました。痙攣は特効薬のツムラ68番ですぐに治ったようです。4回来てやっと登れたという人もいました。

登山の難易度を上級とか初級とか言いますがツアー会社などが勝手に決めているみたいで、行動時間や歩行距離、高度差などに基づいているようです。同じ山でも登山コースによって変わります。トムラウシは最短コースでも上級となっていると思います。

#### [行程]

7月26日：名古屋→仙台行夜行バスで27日朝に仙台着

7月27日：仙台空港→新千歳空港→バスで東大雪山荘（泊）

7月28日：宿→バスで短縮登山口4：10→コマドリ分岐 7：25→10:40トムラウシ頂上  
→16:40登山口→バスで山荘（泊）

7月29日：新千歳空港→仙台空港→新幹線で帰宅



カムイ天上からトムラウシ



トムラウシ公園



トムラウシ分岐近く



チングルマの群落

7 十勝岳 (2077m) 2015年6月30 (火) クラブツーリズムツアー

十勝岳はしょっちゅう噴火しており、今も噴煙を上げています。  
少し登ると木らしい木は無かったと記憶しています。



登山前日の夕方はよく晴れていたのですが、当日は降ったり止んだりの天気でした。登頂時には霧がかかっていましたが、荒々しい活火山の雰囲気は十分に感じられました。

ガイドから北海道の作家で『氷点』の作者である三浦綾子の作品に、十勝岳噴火に関する作品『泥流地帯』があると聞き、帰ってから読みました。

[行程]

6月29日：旭岳登山

6月30日：大雪山白金観光ホテル→バスで望岳台登山口8：10→12時十勝岳頂上→14：55望岳台  
→バスで大雪山白金観光ホテル・入浴→バスで旭川空港→羽田空港→新宿  
→夜行バスで名古屋



登山前日にホテルから十勝岳連山



すり鉢火口から山頂



十勝岳山頂



望岳台（登山口）

《 編集担当よりお願い 》

会誌「緑野」や「たより」への投稿、ご意見・要望等をお寄せください。  
(特に「たより」の表紙の写真の投稿をお待ちしています。)

会員相互の連絡や意見交換にもご利用ください。